



セーフコミュニティ通信 第43号

2025(令和7)年7月発行

セーフコミュニティ郡山

2018.2.2 国際認証取得
2023.2.4 国際認証再取得



セーフコミュニティ合同対策委員会を開催しました！

令和7年5月28日(水)に郡山市セーフコミュニティ6分野(交通安全、こどもの安全、高齢者の安全、自殺予防、防犯、防災)合同で対策委員会を開催しました。



郡山市セーフコミュニティ推進協議会
会長 椎根市長よりあいさつ



日本セーフコミュニティ推進機構
代表理事 白石陽子氏

演題 今日から私たちからできる
安全な未来づくり

セーフコミュニティ活動について、流れのイメージや振り返り・軌道修正の方法についてご助言をいただきました！



ワークショップの様子

委員会の中で、飲酒運転根絶をテーマに各対策委員会でワークショップを行いました。ワークショップでは、①飲酒運転はなぜなくなるのか②飲酒運転根絶のために各対策委員会でできることの2つの観点から意見を出し合いました。

交通安全



こどもの安全



高齢者の安全



自殺予防



防犯



防災



発表

ワークショップの最後には、対策委員会ごとに出た意見を発表しました！



飲酒運転はなぜ
なくなるのか

- ・問題意識が低い
- ・運転代行やタクシーの料金が
高い
- ・罰則が軽い

などの意見が出ました！



飲酒運転根絶のために
対策委員会でできること

- ・対策委員会の活動とあわせて
飲酒運転根絶の啓発活動を行う
- ・夜間のパトロールを強化する
- ・啓発グッズやチラシを配布する

などの意見が出ました！

熱中症を予防しましょう！

=予防救急=

郡山地方広域消防組合は
けがなどを予防する
『予防救急』に
取り組んでいます。

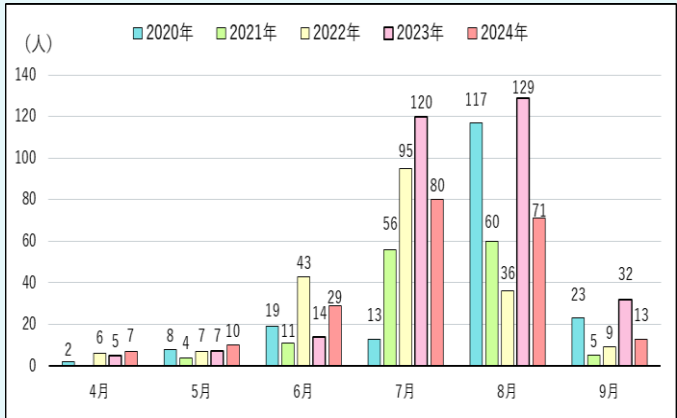
昨年（2024年）は、郡山消防本部管内で210人が熱中症によって救急搬送されました。熱中症の発症は、気温や湿度等の環境要因が大きく影響する一方で、事前の対策により予防や重症化を避ける余地があります！データから傾向を把握し、みんなで熱中症を予防しましょう！



情報提供：郡山地方広域消防組合

郡山地方広域消防組合管内での熱中症による救急統計（2020～2024年）

【月別の救急搬送人員】



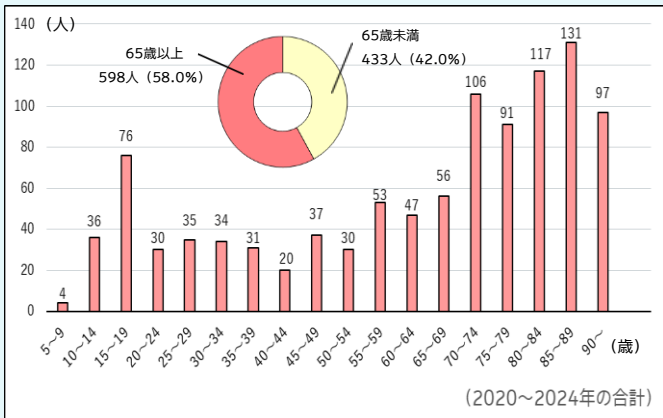
月別の救急搬送人員を見ると、7月・8月が特に多い傾向にあります。梅雨明けの時期は、日差しが急に強くなり、急激な気温の上昇に身体が対応しきれず、熱中症になる危険性が高まります！予防と対策を徹底しましょう！



予防と対策

- **少しずつ暑さからからだを慣らしましょう**
からだ暑さに慣れることを暑熱順化といいます。日頃から汗をかく習慣を身につけることで暑熱順化が進み、熱中症になりにくくなります！
- **水分補給は計画的にこまめに行いましょう**
のどが渇いたと感じた時点で、すでに熱中症が進行している可能性があります。計画的に水分補給の時間を設けるなどして、こまめに水分補給をしましょう！
- **高温・多湿・直射日光を避けましょう**
天気予報や熱中症警戒アラート等の情報を確認し、熱中症リスクを把握したうえで行動しましょう。屋外では強い日差しを避け、外出時は帽子や日傘を有効に活用しましょう。屋内では風通しを良くし、必要に応じてエアコンや扇風機を活用しましょう。高齢者は暑さに対する感覚が衰えている場合があるため、家族などの身近な人が積極的に声掛けや気配りをしましょう！

【年齢区分別の救急搬送人員】



年齢区分別の救急搬送人員を見ると、65歳以上が598人で全体の58%を占めています。65歳未満では15～19歳が76人（7.4%）と多くなっています。昨年の7月・8月には、庭仕事や農作業中の高齢者、屋外活動中の学生が熱中症になり、搬送される事例が発生しています。また、熱中症の約半数は住宅等の屋内で発生しているため、屋内にいても注意が必要です！

お知らせ

Instagramアカウント
『郡山地方広域消防組合[公式]』では、予防救急や火災予防、日常業務や訓練の様子などを写真等を通して発信しています。みなさんのフォローお待ちしております！



↓アクセスはこちらから↓



熱中症警戒アラートをチェックしましょう！

郡山市では熱中症の危険性が極めて高いと予測される日に、公式LINEと防犯メールからお知らせしています！



▲ 郡山市公式LINEに登録 ▲ 郡山市防災メールマガジンに登録

熱中症警戒アラートを活用しよう！

